

「家庭系ごみの有料化」の



「有料化」とはということ？

A

指定袋を購入することで、ごみ処理手数料を支払うことになります。ごみを減らせば、負担も少なくなるしくみです。



有料化はいつから？

A

老朽化が進む現清掃工場への負荷軽減、十分な周知期間の確保、さらに12月から3月までの降雪期間、3月から6月にかけての社会人・学生の異動時期・地区役員等の交替時期を避けるため、平成22年7月1日のスタートを目指しています。



ごみ処理手数料っていくら？

A

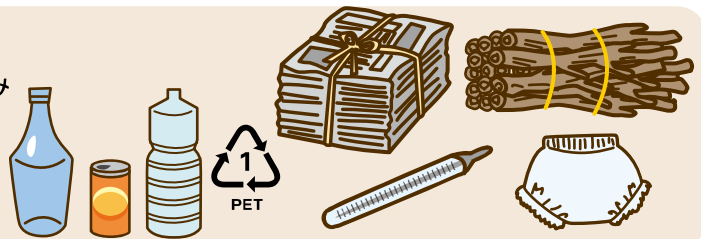
項目	特大袋(60ℓ)	大袋(35ℓ)	小袋(20ℓ)
もやせるごみ	1枚 60円	1枚35円	1枚20円
プラスチック類	—	1枚35円	1枚20円
雑貨品・小型廃家電類	—	1枚35円	1枚20円
埋立ごみ(新設)	—	—	1枚20円
上記項目の中で袋に入らないごみ(新設)	1枚 60円(共通収集シール)		

※特大袋は現在使用しているごみ袋の大袋で、大袋は中袋のサイズです。

※1世帯(2.65人)あたり月額500円程度の負担が想定されます。

《有料化対象外ごみ》

- ビン・カン
- ペットボトル
- 古紙類
(新聞、雑誌、雑がみ、段ボール)
- 水銀含有ごみ
- 剪定枝
- 紙おむつ



有料化対象外のごみはどうやって出すの？

A

対象外ごみ	排出方法	対象外ごみ	排出方法
ビン・カン	指定袋は設けず、透明袋に入れて出します。	古紙類	従来のおりとしします。
ペットボトル		水銀含有ごみ	
紙おむつ		剪定枝	



町内の一斉清掃や集積所の管理で出たごみはどうするの？

A

ボランティア袋、ボランティアシールの必要枚数を町内会に支給します。



今の袋も有料化なのでは？

A

現在の袋は、袋メーカーが製造販売しているものであり、ごみ処理手数料は含まれておりません。



今使っているごみ袋は使えなくなるの？

A

有料化になると、使えなくなります。計画的なご購入をお願いします。また、残った袋については、新しいごみ袋と交換します。



有料化による収入はどうなるの？

A

ごみ袋作製費やごみ処理経費のほか、ごみ減量・資源化の促進、不法投棄対策、集積所管理に対する支援、地球温暖化対策等に活用します。



ごみ袋はどこで買えるようになるの？

A

現在袋を販売している店舗で、同じように購入できるようにします。



袋に入らないごみは、どうすればいいの？

A

これまで、袋に入れずそのまま集積所に出していただいていたものについて、共通収集シールを直接ごみに貼って出していただくこととなります。

詳細については、決まり次第お知らせいたします。

みなさんの暮らしを応援します！

～みなさんの声におこたえします～



祝祭日の収集は、どうなるの？

➡ 祝祭日の完全収集を実施します。(1月1日～3日は除く)



集積所の管理が大変！

➡ 町内会が管理する集積所に対して、管理協力金やカラス対策としてのネット支給、集積所の設置に対する支援を行います。



集積所が遠くて、ごみを出すのが大変！

➡ 集積所設置要綱を見直し、10世帯あたりに1集積所の設置を可能にします。(現在、20世帯あたり1カ所)



有料化後の不法投棄が心配！

➡ 看板や監視カメラの設置を行います。さらに、パトロール車を増やし、パトロール体制を強化します。



集団資源回収をもっと応援してほしい！

➡ 実施回数に応じた推進費の増額を行います。



生ごみ処理機を使いたいのですが？

➡ 生ごみ処理機の購入に対する補助金額を増やし、生ごみ処理機の購入を応援します。



高齢者や障がい者の負担を軽くして欲しい！

➡ 生活保護世帯や、世帯全員が住民税非課税で、かつ所得のない高齢者世帯・障がい者世帯・1人親世帯等に対して、指定袋の支給を行います。



使用済み食用油のリサイクルが必要では？

➡ 新たな資源物として集積所等での収集(行政回収)を行い、バイオ燃料(BDF)としての活用を図ります。

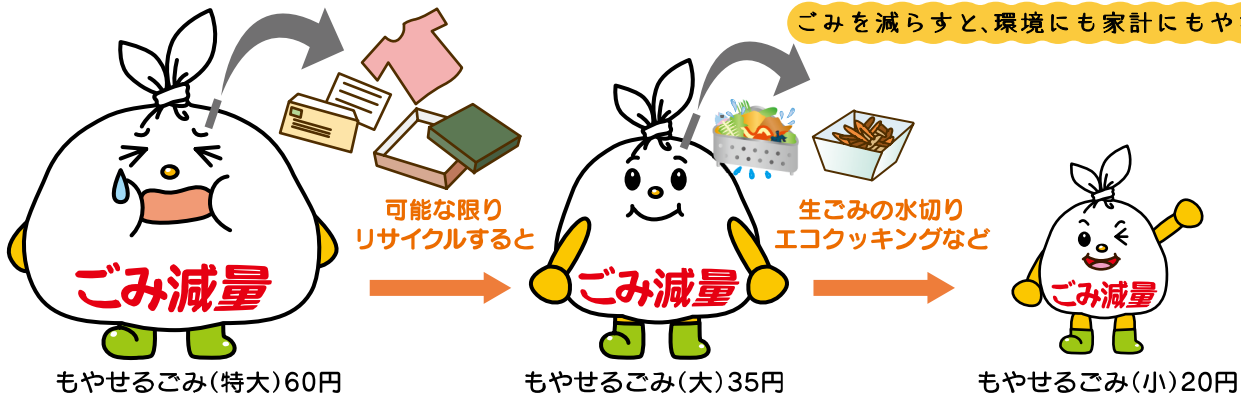


地球温暖化対策も進めてほしい

➡ 一般家庭向けの太陽光発電装置設置の助成を増やし、環境に優しい自然エネルギーの促進を図ります。ごみ収集車のバイオ燃料使用を拡大していきます。

さらなるごみ減量を目指して！！

ごみを減らすと、環境にも家計にもやさしいね。



ごみを減らすことや資源物の分別を進めることで、より小さい袋で済ませることができます。

ごみを減らして、限りある資源を上手に使うために私たちができること
そのポイントは、**3つ!**

point 1 **ごみを減らす**
リデュース
(発生抑制)



買い物には、いつも
マイバッグを持参しよう

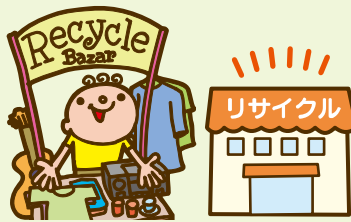


過剰包装を断ろう



生ごみの重さの約半分は水分
水切りを徹底しよう

point 2 **繰り返し使う**
リユース
(再利用)



リサイクルショップや
フリーマーケット等を利用しよう



詰め替え商品を利用しよう



モノを大事に長く使おう

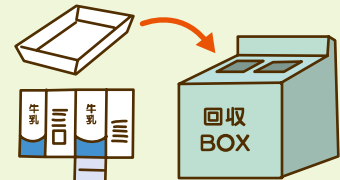
point 3 **資源として再利用する**
リサイクル
(再生利用)



集団資源回収に協力しよう



生ごみを堆肥化しよう



食品トレイや牛乳パックの
店頭回収に協力しよう



廃食油のリサイクルに協力しよう

生ごみ減量編

台所から、ごみを減らそう! ~生ごみを減らしましょう~

①生ごみの水切り



生ごみの約半分は水分。
野菜くずは、濡らさずに捨てましょう。三角コーナーや、水切りネットを活用し、生ごみを瓶の底で押すなど「もうひと絞り」を習慣にしましょう。

②エコクッキング



食べきれぬ分だけ、つくりましょう。ひと工夫で、皮や葉も、おいしく食べられます。

③生ごみ処理機の活用

生ごみを土に戻してリサイクルしましょう。



補助対象機種

- ・電気式生ごみ処理機(乾燥式、バイオ式)
- ・コンポスト容器
- ・EMボカシ容器

紙類・布類減量編

集団資源回収は有効なリサイクルの手段!!

回収品目・実施日は各地区にて異なります。各町内会・子ども会等にお問い合わせください。

回収品目



- 新聞** 折込チラシも一緒にOK
- 雑誌** 付録のCD・DVDなど、紙以外のものは除いて
- 雑がみ** 紙製の袋に入れて中から出ないように

- 段ボール** つぶして折りたたんで
- 紙パック** 軽くすすいで、切り開き、かわかして



- 布類** ファスナー等は取らずに、そのまま



- 一升瓶(茶・緑)**
- ビール瓶(大瓶)** ふたはとりはずし、軽くすすいで



- アルミ缶**
- スチール缶** 軽くすすいで、それぞれ分別し、袋に入れて

雑がみ

雑がみとは

新聞、雑誌、段ボール以外のリサイクルできる紙。具体的には、空き箱、包装紙、ダイレクトメールなど



これらは“雑がみ”ではありません。

- ティッシュペーパー・食品などで汚れた紙
- フィルムやアルミ箔等を貼り合わせた複合素材の紙
- 金・銀などの金属が箔押しされた紙(金や銀の文字を使っている菓子箱など)



防水加工紙



カーボン紙



感熱紙



写真

雑がみの出し方

STEP1 集めます

雑がみが出たら、紙袋に入れます。

- ・個人情報が入る方は、ぬりつぶしてください。
- ・買い物等で受け取る紙袋をご利用ください。紙袋も雑がみとして一緒にリサイクルできます。紙袋が無い場合は余っている新聞の整理袋も使えます。その際表面に“雑がみ”と記入してください。

STEP2 しばります

ある程度たまったら、紙袋をたたみ、ひもでしばります。

- ・中身が出ないように注意してください。

STEP3 出します

集団資源回収を利用してください。

- ・地域ごと町内会や子ども会などで実施しています。

ここがポイント!
紙袋に入れ、袋の口を折りたたんで出してください。



布類

リサイクルできる布類

衣類、下着、着物、カーテン、シーツなど

出す際のポイント



ボタン・ファスナーなどは取らずに出しましょう



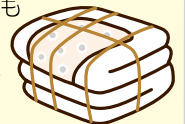
雨などで濡れたり、汚れたりしないように風呂敷やビニール袋に入れて出しましょう

リサイクルできない布類

布団、座布団、枕、スキーウェアなど

捨てる方法

- 布団、座布団で、わた・化繊・羊毛入りのものは、市の指定する日(月1回)に、ひも等で結んで出してください
- 羽毛入り布団は、もやせるごみに出してください



★集団資源回収まで待てない場合は…

ペットボトルの収集日に、決められたごみ集積所に出してください

※新聞・雑誌・段ボールの近くに出してください。